

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和6年7月末現在)

室蘭労働基準監督署

区分 業種別	令和6年			令和5年同期			対前年		業種割合	令和5年確定値			
	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	死亡 []内は 転倒災害	休業 []内は 転倒災害	合計 []内は 転倒災害	増減数	増減率		死亡	休業	合計	
全産業合計	2	123 [61]	125 [61]	3	154 [51]	157 [51]	-32	-20.4	100.0	3	290	293	
製造業	1	12 [3]	13 [3]		27 [12]	27 [12]	-14	-51.9	10.4		42	42	
食料品		3 [2]	3 [2]		8 [3]	8 [3]	-5	-62.5	2.4		15	15	
木材木製品								-					
窯業・土石		2 [1]	2 [1]		2	2			1.6		4	4	
鉄鋼業	1	2	3		5 [3]	5 [3]	-2	-40.0	2.4		7	7	
金属・機械		2	2		2	2			1.6		4	4	
輸送用機械					2 [1]	2 [1]	-2	-100.0			3	3	
その他の製造業		3	3		8 [5]	8 [5]	-5	-62.5	2.4		9	9	
鉱業・土石採取業								-					
建設業		16 [3]	16 [3]		16 [5]	16 [5]			12.8		33	33	
土木工事業		3 [2]	3 [2]				3	-	2.4		5	5	
建築工事業		9 [1]	9 [1]		9 [3]	9 [3]			7.2		15	15	
木造建築業		3	3		4 [1]	4 [1]	-1	-25.0	2.4		9	9	
その他の建設業		1	1		3 [1]	3 [1]	-2	-66.7	0.8		4	4	
道路貨物運送業		12 [4]	12 [4]		7 [2]	7 [2]	5	71.4	9.6		16	16	
その他の運輸業		4 [2]	4 [2]		7 [3]	7 [3]	-3	-42.9	3.2		6	6	
陸上貨物取扱業								-					
港湾運送業		1	1		1 [1]	1 [1]			0.8		1	1	
林業								-			2	2	
漁業								-					
卸売・小売業	1	26 [17]	27 [17]		18 [9]	18 [9]	9	50.0	21.6		42	42	
社会福祉施設		18 [9]	18 [9]		10 [5]	10 [5]	8	80.0	14.4		41	41	
旅館業		3 [1]	3 [1]		2 [1]	2 [1]	1	50.0	2.4		7	7	
清掃業		10 [8]	10 [8]	2	8 [4]	10 [4]			8.0		2	16	18
上記以外の事業		21 [14]	21 [14]	1	58 [9]	59 [9]	-38	-64.4	16.8		1	84	85

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したもので、[]内の数字は、転倒災害の件数で内数です。
本統計は、速報値であり後日修正されることがあります。本統計表は北海道労働局ホームページでダウンロードができます。

令和6年度 室蘭労働基準監督署スローガン【いぶりの地から安全宣言 みんなで守ろう快適職場】

- 令和6年7月に当署管内で死亡災害が発生しました。
事業場においては、今一度、作業手順等の内容が関係労働者に浸透しているか確認して、必要に応じて安全衛生教育を実施してください。
なお、災害の概要は「令和6年 死亡労働災害事例」を参照願います。
- STOP！熱中症クールワークキャンペーン
職場における熱中症対策の一環として、5月から9月を期間として実施します。
各職場において、8月も引き続き熱中症対策に取り組みましょう。
右のQRコードから職場の熱中症対策、実施要綱及びリーフレット等をダウンロードできます。
- 北海道最低賃金は、令和5年10月1日から時間額960円に改訂されました。
なお、日給や月給についても最低賃金が適用になります。支払っている金額を確認してください。



室蘭労働基準監督署
からのお知らせ



石綿総合情報
ポータルサイト

令和6年 死亡労働災害事例

番号	発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	3	13時台	その他の卸売業	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等	金属の回収及び販売を行う事業場において、事業者が午後からトラックに荷積みするための準備作業をグラブプルの使用して行っていた。グラブプルを旋回させたところ上部旋回体後部とその近傍の成形された金属廃品との間に被災者の胸部が挟まれたもの。
2	7	16時台	製鉄・製鋼・圧延業	有害物等との接触	有害物	熱風炉の点火前パージ作業により、熱風炉上部に設置されている排気口から一酸化炭素を大量に含む高炉ガスが排出された時、同熱風炉に隣接する建屋内から外に出た被災者が当該高炉ガスを吸い込み、一酸化炭素中毒を発症し死亡したもの。

令和5年 死亡労働災害事例

番号	発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
1	2	7時台	その他の商業	おぼれ	建築物、構築物	被災者は営業担当として、自社が行う外国船への荷の積み込み作業に関して、荷主と打ち合わせを行った後、打ち合わせを行った場所から外国船が停められている岸壁側に向かって歩いている途中に誤って岸壁から海面に墜落したもの。 災害発生時現認者はいなかったが、荷主の責任者等が海面に浮いている被災者を発見して、救出したものの、搬送先の病院にて死亡したもの。
2	4	13時台	清掃・と畜業	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	堆肥製造を行う事業場の、2次醗酵棟と呼ばれる堆肥の発酵とふるい分けを行う施設内で、被災者はトロンメルと呼ばれる堆肥とゴミを選別する機械と当該機械の覆いの中で意識のない状態で発見されたもの。
3	5	9時台	清掃・と畜業	飛来、落下	その他の一般動力機械	被災者は、高圧洗浄水による圧力容器内部の清掃作業のため、当該洗浄水を圧送するための高圧洗浄車の横で機械操作を行っていたところ、何らかの原因で高圧洗浄車のポンプから圧送用のホースが外れ、ポンプ内部より噴き出した高圧水が被災者の頭部に直撃したもの。